

花 4月～6月	シソ科	
オドリコソウ		
<p><b>花の上唇は笠状になって花粉を保護する</b></p> <p>北海道～九州のやぶや道ばたの半日陰に自生。草丈30～60cm、葉は長い柄をもち、節ごとに対生する。表面や裏の脈上にまばらに毛が生え、縁に粗い鋸歯がある。</p> <p>花は長さ3～4cmの唇形で、半分が上唇と下唇に裂け、半分が筒状となる。花粉は水に弱いので、上唇がそれを覆うように笠状になる。下唇の突き出した部分はプラットホームと呼ばれていて、ここには受粉の仲介役の昆虫が止まる。</p>		
花 5月～10月	キク科	
ヒメジヨオン		
<p>北アメリカ原産の帰化植物で、空き地などに幅広く生える。ハルジオンとよく似ているが、ハルジオンより花期が遅く、この点だけでおおよそ見分けはできる。ハルジオンと違い、茎は中実で、葉は茎を抱かず、根生葉は開花期まで残らない。</p>		
花 5月～9月	マメ科	
クサフジ		
<p>北海道～九州の山野の草地、林縁に自生する。つる性植物で、茎の長さ80cm～1.5mまで伸びる。葉は18～24枚の小葉からなり、小葉の先には3～5枚の巻ひげがある。托葉は、狭卵形で、2裂または裂けない。</p>		